

“はあと”をつなぐ情報誌



月刊 はあむふる あたご

第51号
【発行】
2009年11月

【発行元】株式会社はあとふるあたご 〒951-8051 新潟県新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地
電話 025(228)5000 FAX025(228)4000 【発行者】木村 淳

あ



事業所「敬老会」の風景

- 左上／デイサービスセンター河渡本町（6ページ） ■右上／デイサービスセンター松浜（8ページ）
■左下／デイサービスセンターさかえ（9ページ） ■右下／グループホーム五泉（10ページ）

目次

- ヘルパー講座を開講しました・・・2 波田野先生のコラム 第5回・・・11
自分で食べるを応援します！第17回・・・5 お手軽レシピ・・・11
木陰亭昔語り 第8回・・・8 新入社員 現在の心境・・・12

わたしたち はあとふるあたご は、“人” を一番大切にします。

「ホームヘルパー2 級講座」を開講しました



当社では、新潟県より、7月14日付で「介護員研修事業者」としての指定を受け、9月から、通学制の「ホームヘルパー2級講座」を開講いたしました。この講座は、当社の現場スタッフが講師を勤め、実習も全て当社事業所で行うことが特徴になっております。新潟日報(8月25日朝刊)でも、その特徴が記事として取り上げられました。

第1期講座は9月2日に開講し、国際ペットワールド専門学校アニマルセラピーコーディネーター学科の学生13名と、一般受講生2名が受講しています。

アニマルセラピーコーディネーター学科は、「動物介在療法(動物とふれあうことで、人の心が癒されたり、心身の健康に影響を及ぼしたりする効果を活用した療法)」のプロを育成する専門課程として、日本で初めて設置された学科です。国際ペットワールド専門学校と当社の連携により、人と動物の橋渡し役となる人材の育成を目指しています。

第2期講座は9月14日に開講し、社内受講生、一般受講生、合わせて15名が受講しています。年齢層も幅広く、現在仕事をされている方、求職中の方、様々な方が学んでいらっしゃいます。介護を初めて学ぶ受講生が多く、授業中はもちろん、授業前はテキストを自習したり、授業後に講師に質問する姿も見受けられ、熱心に授業に臨んでいることが伝わってきます。受講生同士も次第に打ち解けてきて、大変良い雰囲気で行われています。

11月からは合同で演習が始まり、12月からは実習に入ります。実習生が、皆様のもとへお伺いすることがあるかと思います。ぜひ、温かく迎えて頂き、ご指導頂ければと考えております。よろしくお願い致します。

次期講座の実施日については、当誌面やホームページ等を通じてご案内させて頂く予定ですが、皆様からのお問合せもお待ちしております。

教育研修事業部 訪問介護員研修センター 古野間 信介

デイサービスセンター柳都大橋

●祝 100 歳！

デイサービスセンター柳都大橋では、2人のお客様が、めでたく 100 歳を迎えられました。

1 人目のお客様は、9 月のお生まれで、その日は盛大にお祝いをしました。

「100」とかたどられたローソク付きのケーキも登場して、とっても盛り上がりましたー。

そして、10 月。もうひとりのお客様の誕生会が、これから行われます。この記事が出る頃には、もう誕生会



が終わった後ということになりますね。どんな誕生会になるのか楽しみです。

ちなみに、お祝いといえばかりかせない柳都名物“花笠四人娘”の舞が、誕生会と敬老会でも披露されたので、その写真も載せておきます。

お 2 人とも、本当におめでとうございます。これからも末永くお元気で、デイサービスセンター柳都大橋にいらしてください！

デイサービスセンター柳都大橋 松浦 浩子
電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335



グループホーム三条

●加茂山散策と敬老会

秋になって、天気の良い日は、ちょっとお出かけしましょう！ ということで、数名の方と加茂山公園までドライブに行ってきました。定番の心太も召し上がり、皆様上機嫌でした。

秋の気配を肌で感じつつ、去る 9 月 23 日には敬老会を催しました。

もはや、定番となってしまった職員の相撲大会、お客様も一緒に踊ったフラダンスなど、とにかく楽しん



でいただこうと、一生懸命趣向を凝らしました。

相撲大会の決勝は、「闇のヒーロー：ブラック金太郎」対「皆のヒーロー：足柄山の金太郎」。勝負は、足柄山の金太郎の圧勝でしたが、ここで飛び入り参加のお客様が！ 金太郎さんはお客様の輝く生命力の前に、膝を屈してしまいました。

皆様のご長寿をお祝いしつつ、沢山の笑顔に囲まれる幸せを噛みしめました。

グループホーム三条 難波 淳
電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556



グループホーム新津

●歯科健診をしました

1年に1回の歯科健診を実施しました。

いつもの、かかりつけ医の富樫先生です。皆さん、神妙になって（中にはビクビクしていた人も）受けていましたが……。幸い、先生からは、「皆さん、心配するほどの人もなく、良くケアされてますね！」とのコメント



を頂きました。

治療の必要な方は2名と少なく、ホッとしたところです。健診後はお客様ともども、先生に口腔ケアの必要性やポイントをお聞きし、数々の質問にもお答え頂きました。

お口の健康が何より大切。職員も改めてその重要性を感じた一日でした。

グループホーム新津

渡邊 やよひ

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

居宅介護支援課

●「日本ケアマネジメント学会」第8回研究大会に参加して

「日本ケアマネジメント学会」という、ケアマネジャーが所属する団体があります。質の高いケアマネジメントを実現し、支援を必要とする人々の生活の質を高めることを目的として、2001年に設立されました。毎年、全国各地を開催地にして、学会主催の研究大会が開かれています。



今年は横浜での開催でしたので、3年ぶりに参加してきました。キーワードは、「認知症」「地域における支援」「住民と多職種との協働」。講演を中心に、公開講座やシンポジウム、パネルディスカッションなど。2日間に渡り、熱い刺激を受けて来ました。

全国各地から約1,000名のケアマネジャーが参加しており、関西弁、東北弁、九州弁と言葉は様々でしたが……。「ケアマネジメントの質を高めることで、社会が豊かになる」と大きな夢を語り、気持ちをひとつにしました。



余談ですが、横須賀のケアマネジャーと親しくなり、横須賀を案内してもらいました。米軍基地の潜水艦や軍艦の見物と、地元ならではの味をお土産に持って帰りました。

来年は埼玉開催です。また参加することを楽しみに、日々研鑽しています。

居宅介護支援センター城北町

横尾 多美子

自分で食べるを応援します！ 第17回

「住宅改修研修会を開催しました」



株式会社コラボ 代表取締役社長
秋元 幸平



燕市にある、体験型の福祉用具総合展示場「ウィルアシスト」には、住宅改修スペースがあります。

体験用として、実際の玄関・廊下・お風呂・トイレ・段差・手すりなどが設けられています。どのように改造したらご利用者様に一番使いやすいかを、工務店の大工さんに体感して頂くことが目的です。

この9月、第1回目の住宅改修研修会を開催し、10名以上の工務店様に参加して頂きました。研修会では、教科書を使った1時間半の講義と実技1時間半のカリキュラムで勉強して頂きました。

実技の中で車いすの体験をして頂きましたが、参加者のうち車いす経験者はおらず、全員が初体験でした。特に、車いすで自走できる最大傾斜5度の坂道では、その大変さを体で感じて頂きました。

「ウィルアシスト」を運営をしている「NPO法人 UD21 にいがた」では、このような研修会を通して、県内の工務店様に、手すりの取付けや段差解消などのスキルアップをして頂き、ご利用者様の快適な生活を支えることを目的としています。



■ウィルアシスト：Tel. 0256-64-9001

福祉用具課

●ユニバーサルデザインフード

今回は、「ユニバーサルデザインフード」をご紹介します。

介護食品という名前なら、お耳にされたことがあ
るかと思いますが……。国内食品メーカーが中心となり、「かむ力、飲み込む力」などを統一規格によって分類した、食べやすさに配慮された食品です。



定価 157 円
(税込)

定価 157 円
(税込)

定価 147 円
(税込)

<特徴>

- ・調理が簡単でおいしい！ 作る方の負担を軽減します。
- ・栄養をとることに配慮されています。

サンプルなどは、福祉用具課までお問い合わせください！

福祉用具課 福祉用具センター新発田 村山 亮

福祉用具センター柳都大橋 025-228-5002

福祉用具センター新 発 田 0254-23-1173

福祉用具レンタル・販売/住宅改修のお問合せは…

訪問介護課

●シリーズ「ヘルパーさんって!？」其の六 “ヘルパーと一緒にサッパリ!”

訪問介護の内容で、「水分補給」という項目があります。

暑い日もようやく終わり、秋に入ってきた今日この頃。汗をかかないから、水分を取らなくても大丈夫……。トイレの回数が増えるのがいやなど、あるかと思います。



そんな時、ヘルパーが水分補給のお手伝いを致します。

活発に動かれる方にはお声掛けをさせていただいたり、飲み物をご用意させていただいたり。もちろん、出来る部分はご自身で行っていただきますが、ご自身で出来ない、あるいは困難な方には、お手伝いさせていただくことが出来るのです。吸い飲みを使用したり、飲みこみに難のある方にはトロミを付けたり、ガーゼなどに浸みこませて水分を取っていただくなどの方法もあります。



涼しくなってきたとは言え、まだまだ暑い日もあります。喉が乾かないからと、水分を取らずにいると体に良くありません。脱水は、様々な病気を招きます。おしっこが出なくなったり、頭痛、めまい、倦怠感など……。重症の場合は、意識を失ったり命に関わる場合さえあります。水分補給は欠かさずに!

※まずは、ヘルパーまたはケアマネージャーにご相談ください!

訪問介護ステーション

横井 清彦

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

デイサービスセンター河渡本町

●祝☆敬老の日☆

9月21日、「敬老の日」。日頃の感謝の気持ちを込めて、お客様の各テーブルにお花をプレゼントさせて頂きました。



皆様、「きれいだわあ」と大変喜ばれ、記念撮影☆☆☆

美人がより美しく、撮れてますネ。(*^_^*)



午後からは、ボランティアのお二人に歌と踊りを披露して頂いた後、職員一同より、お客様へ感謝状をお送りしました

今年、喜寿・米寿を迎えられたお客様のお祝いもさせて頂きました!!

皆様、普段以上に笑みがこぼれていらっしゃる、職員一同大変嬉しく思います(^_^)/

これからもお客様の笑顔を絶やさぬよう、努めてまいります。

デイサービスセンター河渡本町

野口 晴代

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

デイサービスセンター城北町

●ぶどう狩りに行ってきました！

朝晩、肌寒く感じられるようになったこの季節、恒例のぶどう狩りにお客様をお誘いしました。10月初旬、毎年お世話になっている、聖籠町の高橋巨峰園さんにおじゃましました。

秋晴れとはいかず、雨の降る日となってしまいました。待ちに待ったぶどう狩りということもあり、朝からそわそわ、うきうき(^^)

ぶどう園では、たわわに実ったぶどうが、お客様を大歓迎してくれているようでした。



おいしいぶどうをたくさん試食させていただき、その後はお楽しみ、お買い物タイムです。ぶどうだけでなく、店頭には秋の味覚も並んでおり、ご家族さまやお孫さんへのお土産を、あれこれと選ばれ、とても楽しそうでした。

「また来年も来ますね(*^^*)」と、ぶどう園の方たちと約束し、笑顔いっぱい、お土産いっぱいでお帰りました。体でおいしい秋を感じていただけたひとときでした。

デイサービスセンター城北町 伊藤 郁子
電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

デイサービスセンター坂井東

●いろんな仮装がありました♪

9月21、22日、坂井東では“敬老会”が行なわれました。

日頃の感謝の気持ちを、職員の踊りでお祝いさせて頂きました。踊りと言っても、ただの踊りではないです♪

まずは、職員一同仮装しての登場です！

お客様の反応は……。『アハハハ』と、お腹を抱えて笑って下さる方や……。目がキョトン……。という方もいらっしや、出だしはまずまずの好調です★☆☆

「あの人誰だ〜？」という声が、あちらこちらから聞こえてきます。

いろんな仮装があったんです。チャイナ・ナース、魔女、牛、山下清などなど、面白い仮装で



した。山下清の仮装は特に大好評で、お客様から大ウケでした。出張もしたい所ですが……。笑)。

新潟甚区やこれから音頭で、お客様と一緒に体を動かしました。

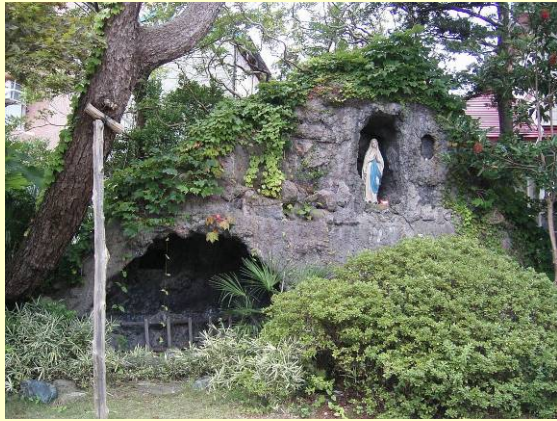
続いて職員が衣装を替えて、“ヒゲのテーマ”に合わせて踊ったり、マシュマロ、輪投げ、パントマイムなどの芸を披露しました。汗びっしょりで熱演した職員たちも、お客様に楽しんで頂けたようで、大満足の日でした(^^)。



デイサービスセンター坂井東 五十嵐 萌
電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

【木陰亭昔語り】 第8回 ～ルルドの洞窟～

総務部 経理財務課 齋藤 正明



前は、「異人池」のお話でしたが、この名前の元となったカトリック教会は、現在も同じ場所にあります。この教会の敷地には、洞窟の穿たれた不思議な岩があります。今回は、この洞窟についてのお話です。

—それでは、木陰亭さんに語ってもらいましょう。—

「あの洞窟は、本物の岩では無いんじゃ。近くで見たらわかるが、コンクリートで出来とる。あれは、「ルルドの洞窟」という作り物なんじゃな。

フランス南部のルルドという村に、ベルナデッタという少女が住んでおった。1858年2月のこと、ベルナデッタが薪拾いに山に入っていると、目の前にマリア様が現れた。マリア様はその後現れ続け、都合18回姿を現したそうじゃが、その9回目の出現の折り、少女に近くの洞窟を掘るよう告げた。ベルナデッタがお告げに従ったところ、そこから泉が湧き出した。これが、奇跡の泉じゃった。眼病を患った村の青年が泉で目を洗ったところ、たちまち病が癒えた。腕の痛みに悩む老女が腕を浸すと、たちまち痛みが消えた。不思議な泉の噂は、たちまちヨーロッパ中に広がり、人々が集まるようになった。やがて洞窟はカトリックの聖地となり、洞窟の上に大聖堂が建てられた。今でも、巡礼者が絶えないそうじゃ。やがて、本物の「ルルド」まで行けない人のために、この洞窟を模したレプリカが、世界中の教会に作られるようになったというわけじゃ。新潟カトリック教会にある洞窟は、昭和29年に作られたものじゃよ。」

デイサービスセンター松浜

●チアリーダーと敬老の日

9月に、デイサービスセンター松浜へ来て下さった実習生は、チアリーダー部の大学生でした。実際にチアリーダー部で使用している手作りのボンボンを持って、♪世界にひとつだけの花♪の音楽に合わせ、リズムカル



な踊りを披露してくださいました。

素敵なミ

ニスカートのユニフォームを間近にして、男性のお客様は、「いやいや、今日は眠らんねわ～」と、お顔を真っ赤にして、特に盛り上がっておられました。

敬老の日には直江兼継と花嫁さんの等身大パネルを作り、写真撮影をしました。

初めは恥ずかしがっていたお客様も、「またどこかへ嫁に行こうかね～」と、照れ笑いをされながらパチリ。楽しい敬老の日となりました。



デイサービスセンター松浜

大久保 優

電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705

デイサービスセンターさかえ

●～今年の敬老会は激しかったなあ～

今年の敬老会は、『お客様にたくさん笑って楽しんで頂こう！』ということで、9月15日から21日まで、一週間行いました。

お食事は、厨房の職員が腕をふるって、松花堂弁当をお出ししました。おやつは、お客様と共に手作りした白玉だんごを召し上がっていただきました。

そしてメインイベントは……。



今回は、さかえの芝居小屋より、役者や踊り子の面々が大勢でお祝いに来て、毎日日替わりで芝居や歌、踊りなどを披露しました。

お客様も手拍子で声援を送って下さり、大盛り上がり！「いいもん、見せてもらったて～」と、とても喜んでいただきました。



私達職員にとって、お客様の笑顔が一番のご褒美。これからもたくさん素敵な笑顔を見せていただけるよう、色々な事に挑戦していきたいと思います。

次は何が起こるかなあ～♪ お楽しみに！

デイサービスセンターさかえ 梅本 育代
電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

デイサービスセンター横越

●敬老の日！

9月の敬老の日、当センターでも、お客様の長寿のお祝いをさせていただきました。皆様お一人お一人の素敵なところや尊敬しているところを紹介させていただきました。一緒に歌を歌ったり……。また、センター最高齢のお客様を、みなでお祝いしました。



ギター演奏と歌が披露されました。

きれいで伸びのある歌声に、みなさま聴き入っておられました。お客様のリクエストで一緒に歌う場面もあり、楽しいひと時が過ぎました。

これからも、皆様のご健康とご長寿を願いつつ……。

デイサービスセンター横越で、楽しく過ごしてまいりましょう！！

デイサービスセンター横越 大久保 友恵
電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

●ぶどう狩り

デイ・ショート合同で、9月9日、阿賀野市中潟にある紫玉苑さんに行ってきました。当日はお天気に恵まれ、さわやかな秋の風が吹き抜ける中での外出となりました。

地面がふわふわしていて足元が少し不安定でしたが、白い袋に覆われたぶどうの重さを確かめながら……。

パチン！ 中身は開けてからの楽しみ♪ まるで宝探しのよう、ぶどう狩りを楽しみました。



お土産もたくさん購入され、ご自宅でご家族の皆様にもおすそわけできたことと思います。秋の味覚を楽しんでいただけたでしょうか？(*^^)v

紫玉苑の方々には大変お世話になり、感謝しております。また来年も、ぜひお客様と一緒に伺いさせていただきたいと思っています。

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原 田邊 麻生
電話 0250-62-8888(デイ) 0250-62-8886(ショート)
FAX 0250-62-8887(デイ・ショート共通)

グループホーム五泉

●今月のグループホーム五泉には……

五泉市横町の踊り子さんと、ゴスペルコーラスの方々が来て下さいました。

キレイな着物で舞う踊り子さん達に、皆様うっとり見とれられ、喜ばれていました。



ゴスペルコーラスの方々からは、お客様お一人お一人に、敬老会のプレゼントが……(。・∀・。) 米寿の方にはさらにもう一つとのことで、いっそう大きな拍手が起こりました。

「年なんて減らねすけなあ」と照れられながらも、みなさま喜んで下さり、良い会となりました。

グループホーム五泉 牛腸 佑子
電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

波田野先生のコラム第5回

『C型肝炎について』

C型肝炎とは、どんな病気なのでしょうか。

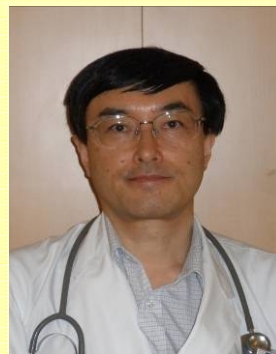
C型肝炎ウイルスは、今から20年前の1989年に発見されました。

それまで、ウイルスは分からず、C型肝炎は「非A非B型肝炎」と呼ばれていました。

C型肝炎は、血液を介して感染します。現在は検査体制が確立しており、問題ありませんが、以前は輸血が主たる感染ルートでした。ただし、感染原因の不明な方も、実際はかなりおられます。C型肝炎ウイルスに感染すると、70%の人が慢性肝炎に移行するといわれています。一般に肝臓には予備力があり、慢性肝炎になっても、ほとんど自覚症状がありません。肝臓が「沈黙の臓器」といわれる所以です。そのため診断が遅れると、肝臓での持続的な炎症のため、肝臓の線維化が進み肝硬変になり、肝がんの発症に至ることにもなりかねません。

最新の調査では、日本人の肝がんの原因の80%がC型肝炎であると分かってきました。

しかし、同時にC型肝炎は、慢性肝炎のうちにウイルスをインターフェロンなどの薬で駆除し、肝臓の炎症、線維化を遮断すれば、肝がんを防ぐことも可能であるとのデータも示されました。まず、感染の有無を調べるのが大切です。自治体の節目検診にもありますので、是非一度は、肝炎ウイルス検査を受けましょう。



☆☆C型肝炎の検査を受けたほうがよい人☆☆

- 1) 健康診断で肝機能異常を指摘された後、肝炎ウイルスの検査を受けてない人
- 2) 平成4年(1992年)以前に輸血を受けた人
- 3) 入れ墨、ピアスを施した人
- 4) 過去に大きな手術を受けたり、長期に血液透析を受けている人



簡単おいしい☆お手軽レシピ

☆さつまいの塩こんぶ煮☆



<材料> 1人前

さつまい(皮つき)……60g(今回は当センターの畑で取れたものを使用)

砂糖……適宜(さつまいの甘さに合わせて調整)

塩こんぶ(細切り)……4g 水……適宜

<作り方>



1. さつまいは皮つきのままよく洗い、1cm厚の輪切りか半月切りにし、水にさらす。
2. 水気を切って鍋へ。水をひたひたに注ぎ塩昆布を入れる。蓋をして、弱めの中火で芋が柔らかくなるまで煮る。

デイサービスセンター城北町 諏訪 律子

今日も元気に、頑張ってます!!

今年4月に入社の新入社員に、半年経ってみての心境を聞いてみました。



齋藤 渉（グループホーム新津）

入社して半年が過ぎました。あっという間です。
職場は明るく楽しくて、先輩方もとても優しく指導して下さいます。
やっとお客様の好みや性格も分かってきて、一緒に過ごすのがとても楽しいです。
これからも、たくさん指導して頂きながら、少しでも多くいろんな事を経験し、笑顔を絶やさず頑張りたいと思います。

大久保 優（デイサービスセンター松浜）

入社したころは、わからないことばかりで不安でいっぱいでしたが、お客様と職員の皆さんに助けていただき、楽しく仕事をさせてもらっています。
明るく笑顔が絶えない、デイサービスセンター松浜の雰囲気が大好きです。
生活相談員としても介護職員としても、まだまだ未熟者ですが、これからも精一杯頑張っていきますので、よろしくお願い致します。



松本 唯（ショートステイ水原）

入社してから、あっという間に半年が過ぎました。
入社したときは何も分からず、誰かに頼っていた私ですが、先輩やお客様からたくさんの事を学び、日々成長出来ていると思います。
これからも、向上心を忘れず、元気と笑顔で、毎日頑張っていきたいです。

鷺山 詩織（デイサービス課）

入社してから、あっという間の半年でした。
私は、顔と名前を一致させるのがとても苦手で、お客様のお顔を覚えるのに苦労しました。何度も失敗しましたが、その度に先輩方が優しく教えてくださり、仕事を楽しく覚えていくことができました。私の本業である鍼灸も、新たなサービスながら多くのお客様に気に入ってもらえております。
これからも笑顔と元気で頑張っていくので、よろしくお願い致します。



今後も、4名の成長を温かく見守って頂きますよう、お願い致します。

～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

<連絡先>はあとふるあたご 新潟市中央区新島町通三ノ町 2284 番地 電話 025-228-5000 FAX025-228-4000
<編集委員>南 洋子/中山 卓/荒木 幸子/横井 清彦/岡田 健/齋藤 正明/富樫 亜希子